

授業科目 アフリカ文化研究	単位 2単位
授業担当者 三島 禎子	授業期間 前期
授業の題目と概要 「人の移動に関する文化的研究」 今日の人々の移動に関して、地理的拡大と歴史的動態に着目し、移動にともなう経済活動を民族文化の側面から考察し、アフリカ経済の過去と現在を再考する。	
授業の内容と計画 今日、地球規模の人の移動はわれわれの日常レベルで可視化している。このなかで労働移動と位置づけられる人の移動について、まず世界資本主義の立場から基本的理論の理解と批判をおこなう。そのうえで、今日、西アフリカからヨーロッパへの労働移民として知られる民族集団の事例を取り上げる。労働移動という範疇でとらえられがちな人の移動を、宗教や民族文化などの人類に普遍的な枠組みからとらえ直し、低開発と定義されるアフリカ経済と、世界の「中心」と「周辺」を再考することにつなげたい。 授業は文献解題と議論を中心におこなう。	
使用する参考書、参考論文等 ウォルター・ロドネー（北沢正雄訳）『世界資本主義とアフリカ』拓殖書房 坂井信三『イスラームと商業の歴史人類学』世界思想社 エマニュエル・トッド『移民の運命－同化か隔離か』藤原書店 川北稔編『ウォーラー・ステイン』講談社 イマニュエル・ウォーラーステイン、ポール・ブローデル他（浜名優美監修・尾河直哉訳）『入門・ブローデル』藤原書店 他、欧文文献。	
成績評価基準 出席と議論への参加を重視する。	
その他の留意事項	